

(様式) 事故又は病気により離職し3か月以上就労が困難な場合の申告書

申 込 者 情 報	学校名		
	学籍番号		
	カナ氏名		
	漢字氏名		
	生年月日	(西暦)	年 月 日
家 計 が 急 変 し た 生 計 維 持 者 の 情 報	カナ氏名		
	漢字氏名		
	申込者との続柄		☐ 父 ☐ 母 ☐ 祖父 ☐ 祖母 ☐ 申請者本人 ☐ その他 ()
	生年月日		(西暦) 年 月 日
	就労困難な状況が開始した日		(西暦) 年 月 日
	事由発生前の 就労状況	就労の状況	☐ 被雇用者 ☐ 個人事業主 ☐ 法人の役員 ☐ その他 ()
		雇用保険	☐ 加入しており受給資格があった ☐ 加入していなかった・受給資格がなかった
		離職日	(西暦) 年 月 日
事由発生直前から 申請時点までの就労の状況 ※記入例を参考に、詳しく 記載してください。		(記入例) 私の父は20XX年〇月△日に交通事故に遭い、複雑骨折と臓器の損傷があると診断されました。事故以前は、個人事業主として大工の仕事をしており、私達家族を養って来ていましたが、長期の入院が必要となり、最低でも3か月以上は就労困難であると診断されました。事故に遭ってから現在まで一切の就労を行うことができないため、収入もなく経済的に苦しい状況です。	

本事由による申出に関する誓約

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

1. 私（申込者）は、独立行政法人日本学生支援機構に関する省令（平成16年文部科学省令第23号）第40条第1項第2号に基づき、私の生計を維持する者が事故又は病気によって就労困難になったために家計の収入が減少し、私の就学に必要な費用を賄うことが極めて困難となることを申し出ます。
2. 私は、上記の事由が発生してから本申出までの間、私の生計を維持する者に生じた全ての課税されうる収入および所得を、機構の定める方法により申告します。ただし、その期間に課税されうる収入または所得が生じていない場合には、その旨を、機構の定める方法により申告します。

【記入日】（西暦） 年 月 日 【申込者本人の署名】 _____

※ 偽りその他不正の手段により申込み等を行い、それによって給付奨学金の支給を受けたときは、支給を受けた額に最大140/100を乗じた金額が、国税徴収の例により徴収されます。